



## 【今週の暗唱聖句】

人の子は、失われた人を  
捜して救うために来たのです  
ルカ 19:10

●**人の子**／ダニエル7:13~14で使われているメシヤ（救い主）の称号です。神が人となられたことを強調する表現でもあります。

●**失われた人**／神の視点から失われてしまっている人間の状態を表しています。人は父なる神の元から家出してしまい迷子になり、存在意義すら失ってしまいました。多くの人にはかしながら自分が失われている状態にあることを理解せず、迷子の状態を楽しもうと本末転倒な生き方をしていることも事実です。

●**捜して救う**／人間が頼んだわけでもなく神の側から捜しに来てくださるのです。そして親が子供の不始末に責任を取るように、損害賠償までして下さったのが十字架上の贖いです。神はただ、素直に「ご免なさい」と言って神の家族に戻ってくださることを願っているのです。



## 【今週の英語】

(Adrian Rogers "Adrianisms" より)

**"If you have a Bible that's  
falling apart, you'll have a  
life that's not."**

※ぼろぼろの聖書はぼろぼろでない人生の証。

## 【デボーションの確立のために】

日々のデボーションを充実させ、継続していくコツは前の晩早く寝るといふことと先週申し上げましたが、同時にデボーションが長くなり過ぎないことも大切です。それぞれに主が与えてくださっている一日の働きがありますから「朝礼」としての位置づけを忘れないようにしましょう。一つの誘惑は聖書の教えて理解しづらかったり、分からない箇所にかかっていた時、そこで長〜い聖書研究を始めてしまうことです。時間がたっぷりある時はいいのですが、引つかかるたびに長くなってしまふデボーションが生活を圧迫し始めると、デボーションそのものをやめてしまう危険が出てきます。サタンの策略を見抜かなければなりません。このためのお勧めと原則を一つずつ。

**勧め：**デボーションガイドを使いましょう。聖書を理解できない場合、背景を知らなかったり、言葉の理解不足だったりすることもしばしばです。ガイドを使うことにより、そういう部分が補われ、聖書の世界観が身に付き、聖書を理解する力がついて行きます。

それでも理解しづらい時には次の原則を覚えておきましょう。

**原則：**理解できない聖書の箇所を理解したいと願うなら、まず理解している事を行動に移すことです。時と共に理解できなかったと思えたところがおのずと分かるようになります。

神のなさることへの無理解は隠れた不従順が原因であることが多いのです。御言葉を行動に移そうとすると隠れた不従順があぶり出されます。そこから変えられていくことです。

## 【先週のメッセージより】

おいでになるはずのかたはあなたですか  
マルコ6:14~20、マタイ11:2~14

バプテスマのヨハネはイエスが救い主・メシヤであると大胆に語っていたにも関わらず投獄という苦しみの中でイエスが誰なのか分からなくなりました。彼はユダヤをローマの圧制から救い出す政治的メシヤを期待していたため、イエスが辺境でなさっていた伝道活動をどう受け止めていいか分からなかったのです。

私たちも時に自分の都合に合わせた期待を神さまに対して抱いてしまい、自分の思い通りにいかない「神もイエスも分からない」と感じてしまうことがあります。そのような時どうすればよいのでしょうか。

●ヨハネは素直に「訊ねました」。私たちも「考え方の足りない所をどうぞ教えてください」とまず祈りのうちに神さまに訊ねましょう。

●イエスはヨハネに二つのことを要求しました。① 実際「見たり聞いたり」していることをしっかり検討することと、② それが聖書の約束を実現しているか、再度、注意深く考えるようにということでした。私たちも人の証しを読み、神が自分にしてくださったことを一つ一つ思い起こし、御言葉が実現されているかいかしかり検討しましょう。

●イエスは①②を踏まえた上でヨハネに「わたしを信頼しなさい」とチャレンジしました。私たちも神が今まで示してくださった真実ゆえにさらに信頼して歩みましょう。

## 【先人の知恵】

神さまという友人に対して  
素朴に、子供のように  
信頼をささげることが  
ありとあらゆる所からやってくる  
問題を  
解決してくれます。  
(ヘレン・ケラー)



## 【この教会のビジョン ②】

※フェアフィールド、ウェストチェスターを中心とするニューヨークメトロポリタン地域に住む日本語を話す人々に福音を伝える。

今週は私たちの伝える「福音」について考えて見ましょう。だれが実際に伝えるのでしょうか？伝道は牧師だけしていればいいのでしょうか。いいえ。クリスチャン一人一人、恵みをただで受けたのですからただで与える務めが与えられているのです(マタイ10:8)。次に福音とは何ですか。

「神との和解のメッセージ」です。キリストの十字架によって神の家族に戻る道が開かれている、そして誰でも戻ることができる、というメッセージです。世の中に山積している貧困、病気、困難迫害などの問題にもクリスチャンは積極的に関わっていくべきですが、神との関係の回復というもっとも根源の問題こそが最優先されることも私たちは知っているのです。■